

弱溶剤形2液低汚染アクリルシリコン樹脂塗料

# シントップシリコンマイルド



スプレー対応



はけ対応



ローラー対応

**上塗り**

シントップシリコンマイルドは、2液低汚染弱溶剤形アクリルシリコン樹脂塗料です。

アクリルシリコンの特長である耐久性と耐汚染性に優れます。

塗料用シンナーで希釈できますので、新設はもちろん改修時に旧塗膜を侵すことが少なく幅広く使用することができます。

## 特長

- 耐候性に優れています。
- 水系塗料に比べ、幅広い作業環境条件下での施工が可能です。
- 弱溶剤タイプなので、下地を侵しにくく下地の選択幅が広がります。
- 耐汚染性に優れています。

## 用途

- 鉄部(鋼製階段、手すり、鉄扉など)
- 屋根材(トタン、カラー鋼板など)
- 各種外装材のトップコート(弾性塗材を除く)
- コンクリート、モルタル、各種ボード

## 商品構成

- 容量：14kgセット(主剤：12kg、硬化剤：2kg)
- 色相：白および調色
- 艶：艶あり・5分艶・3分艶

## 標準塗装仕様

### ■鉄部の仕上げ

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	3種ケレン (ISO - St2・SSPC - 2) 以上					
下塗	ネオゴーサーマイルド下塗 主剤：硬化剤=9：1 (塗料用シンナー)	5～10	0.15～0.2	1～2	16時間以上 7日以内	はけ ローラー
上塗	シントップシリコンマイルド 主剤：硬化剤=6：1 (塗料用シンナー)	0～10	0.12～0.2	2	5時間以上 3日以内	はけ ローラー

### ■外壁改修の場合

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	旧塗膜表面の汚れや劣化塗膜を除去し、段差修正は主材により修復する。					
仕上材塗	シントーダンエボ、スーパーリフレエース、リフレエースなどの仕様により仕上げる。					
上塗	シントップシリコンマイルド 主剤：硬化剤=6：1 (塗料用シンナー)	0～10	0.15～0.2	2	5時間以上 3日以内	はけ ローラー



性能表

JIS K 5658 : 2002 建築用ふっ素樹脂塗料に準じた試験結果を下記に示す。

試験項目		試験結果	試験方法	備考
乾燥時間	標準	3時間	JIS K 5658 6.5	8 >
	5℃	16時間		16 >
ポットライフ (20℃)		7時間	JIS K 5658 6.6	5時間で使用できる
塗膜の外観		正常	JIS K 5658 6.7	
隠ぺい率		96	JIS K 5658 6.8	90 <
鏡面光沢度 (60°)		83	JIS K 5658 6.9	70 <
耐衝撃性 (落球式)		合格	JIS K 5658 6.10	重りの衝撃でわれ、はがれない
付着性	クロスカット	合格	JIS K 5658 6.11	分類1以下
重ね塗り適合性		支障なし	JIS K 5658 6.12	重ね塗りに支障がない
耐酸性		異常なし	JIS K 5658 6.13	
耐アルカリ性		異常なし	JIS K 5658 6.14	
耐湿潤冷熱繰返し性		異常なし	JIS K 5658 6.15	
促進耐候性 1000hr		合格	JIS K 5658 6.17	

■ 取り扱いに関する一般的注意事項

■ 現場塗装の一般的禁止事項

- 1 気温5℃以下のときは塗装を避けてください。気温が低くなりますと乾燥が非常に悪くなります。また、塗料の粘度が高くなりシンナーを多く添加するため、塗膜がうすくなり、仕上がりに悪影響を与えることになります。低温時に塗装する場合は加温対策が必要です。(気温15～30℃の範囲が良好です)
- 2 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって塗膜の付着が悪くなり、艶びけ、白化現象が生じます。(40～70%RHが良好です)
- 3 被塗面に結露があるときは塗装を避けてください。(特に早朝の結露、夕刻の降露には注意してください)
- 4 塗装後2時間以内に降雨、降雪が予想される場合は塗装をしないでください。
- 5 強風、砂ぼこりが多いときは塗装を避けてください。砂塵、海塩粒子などが塗膜中、乾燥後に付着すると塗膜性能低下、仕上がりに不良となります。
- 6 炎天下で鋼材が焼けているときは塗装を避けてください。鉄面の温度が高いときは塗膜が発泡する恐れがあります。
- 7 使用前に均一にかき混ぜてから使用してください。
- 8 塗装時および塗料取り扱い時は換気を十分に行い、火気厳禁としてください。
- 9 希釈は弊社製塗料用シンナーを使用してください。うすめ過ぎると艶びけやカブリ不良をおこすことがあります。
- 10 濃彩色塗装時、硬化が不十分な場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。
- 11 ドアやゴムパッキンやプラスチックなど、可塑剤を多く含むものには直接塗膜が触れないようにしてください。
- 12 素地の乾燥は十分に行ってください。
- 13 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。うすめすぎは隠ぺい力不足、仕上がりに不良などが起こりますので、注意してください。
- 14 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとおき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 15 はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗付量、表面肌が異なるため若干の色相差が出ますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- 16 溶剤系塗料のため、室内での塗装は、必ず換気を行ってください。また外部での塗装においても、換気口、空気取入口等に養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。

■ 塗料の一般的取り扱い注意事項

- 1 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に避けてください。
- 2 塗料は使用する前に電動攪拌機を用い、缶の四隅まで十分にかき混ぜ均一な状態にしてください。特にさび止めペイントは比重の関係で顔料が沈降しやすいので十分かき混ぜてください。多液形塗料の場合は、混合比に十分注意し、所定の割合で混合し均一になるまで十分にかき混ぜてください。また、小出しする場合は、かならずはかりを用い、正しい計量混合してください。
- 3 希釈率、塗重ね時間などは、規定の数値を厳守してください。
- 4 開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用してください。
- 5 さげ缶に小分けするときは、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使ってください。
- 6 残った塗料は常にフタをするよう心がけてください。
- 7 塗料、シンナーの保管は、承認を受けた危険物倉庫に貯蔵・管理することが必要です。
- 8 塗装時および塗料取り扱い時は換気を十分に行い、蒸気、ガス等を吸い込まないようにしてください。
- 9 塗装時および塗料取り扱い時は火気厳禁としてください。
- 10 取り扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、ずきん、保護メガネ、保護手袋などの保護具を着用してください。
- 11 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- 12 子供の手の届かない冷暗所に保管してください。
- 13 容器はつり上げないでください。
- 14 本来の用途以外に使用しないでください。

■ 緊急時および応急処置

- 1 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 2 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 3 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 5 誤って飲み込んだときには、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 6 容器からこぼれたときには、布でふき取ってその布を水をはった容器に保管してください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) を参照してください。



くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング

本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号  
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

- |                                     |                                     |   |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 | 北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315  | 四国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108  |
| 東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813  | 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 | 九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777  |
| 東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553  | 大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268  |   |
| 静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091  | 中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821  | <a href="https://www.shintoppaint.co.jp/">https://www.shintoppaint.co.jp/</a> |

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。



- この印刷物は環境に優しい植物油インキを使用しております。
- この印刷物は水なし印刷で作成しております。